

TSUGARU SHAMISEN

VIRTUOSO JAPANESE
SERIES



Sonica Instruments
TSUGARU SHAMISEN
Virtuoso Japanese Series
User's Manual

この度はSonica Instruments Virtuoso Japanese Series TSUGARU SHAMISENを
ご購入いただきまことにありがとうございます。
本物の日本の音を追求するこの製品を是非お楽しみください。
Sonica Instruments Team

はじめに

津軽三味線とは

三味線は日本の音楽を表現する上で、箏・尺八と並んで欠かすことの出来ない楽器です。その中でも津軽三味線は青森県津軽地方に伝わる三味線で、独自の発展を遂げました。日本の三味線は「太棹」「中棹」「細棹」に大別できますが、津軽三味線は「太棹」に分類されます。他の三味線と比べて全体的に大きく、深く重みのある音色で、音量も大きく、迫力のある音を奏でます。民謡の伴奏と独奏のスタイルが多く、特に独奏では撥を叩きつけるような弾き方や、即興演奏、速弾きなど独自のスタイルで発達し、その音色と演奏の迫力が魅力で、現代ではポップスやロック、ダンスミュージックに取り入れられることも多くなりました。

Virtuoso Japanese Series

TSUGARU SHAMISENについて

この製品は津軽三味線のリアルな再現を目標に開発されました。

津軽三味線の演奏は山中信人氏。卓越した演奏力で狂いのない、素晴らしい音を奏でていただきました。

さらに妥協のないレコーディング、Kontaktプログラミングによって、まるで目の前で演奏されている様な、最も津軽三味線に近いソフトウェア音源として完成しました。ぜひTSUGARU SHAMISENをたくさんの音楽の中でお使いください。

そしてなにより私達は本物の邦楽器と演奏者をリスペクトしています。この製品をお使いになっていただくことが、皆様が本物の津軽三味線の魅力を知るきっかけになれば幸いです。

製品の特長

高精細な24bit、96kHzのマルチマイク収録

レコーディングは10本以上の様々なマイクと色付けのないマイクアンプを使用、高精細な24bit、96kHzレコーディングされました(製品では24bit、44.1kHzで収録)。

製品ではDirect Mic、Overhead Mic、Room Mic、Stereo Mixの使いやすい4種類のマイキングでミキシングが可能です。

豊富なアーティキュレーション、5つのフレーズバンク、掛け声、スライドノイズを収録

20以上のアーティキュレーション、スライドノイズ、掛け声、フレーズパターンをキースイッチでコントロール、MIDI鍵盤上で表現力豊かなリアルタイム演奏が可能です。

津軽三味線特有の奏法を再現可能にする、独自の発音メカニズムとインターフェースを開発

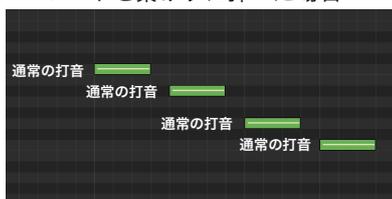
ストリングモード・メカニズム

津軽三味線には3本の弦がありますが、基本的にギターのような和音演奏はあまりせず、一の糸をメインにした単音フレーズや三の糸をメインにした単音フレーズを駆使して演奏します。この演奏方法を再現するために、TSUGARU SHAMISENでは3本の弦を独立した楽器として挙動させ、弦を選択して発音させるストリングモード・メカニズムを開発し、搭載しました。演奏時は、キースイッチでストリングモードを瞬時に選択可能。これによって、本物と同じように3本の弦を縦横無尽に行き来する演奏表現が可能となりました。

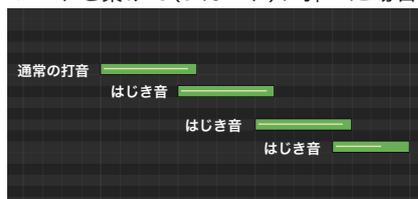
「はじき」奏法を再現する「はじき」Hajiki-Legato機能

左手の指で弦をはじく、三味線特有のタッピング奏法の一つ「はじき」。MIDI鍵盤をレガートで演奏すれば、どのアーティキュレーションからも、Key Switch操作することなく瞬時に「はじき」音で演奏可能です。

ノートを繋げずに弾いた場合



ノートを繋げて(レガート)に弾いた場合



連続したバチさばきを再現するオルタネート奏法機能

キーオンで打ちおろし(ダウンストローク)、キーオフでスクイ(アップストローク)を交互に発音可能なオルタネイトピッキング機能を搭載しました。この機能はサスティンペダルを踏んでいる間だけアクティブになり、どのアーティキュレーションで演奏していても、瞬時にこの奏法を差し込むことができます。サスティンペダルを踏んでいる間、連続で打鍵すれば簡単にトレモロ奏法が実現できます。



「さわり」と「共鳴音」を発音するレゾナンス機構

津軽三味線の響きを作るのに最も重要な吾妻さわり(あづまさわり)と共鳴音を独立して音源化、津軽三味線の発音と同じように、特定の音程に反応して共振します。さらに、これらのレゾナンス音は、三つの調弦タイプとキートランスポーズにも追従し、三味線の本来の響きを確実に再現します。またレゾナンス音はそれぞれ成分音量をコントロール可能です。

3種類の調弦とキートランスポーズ

にあが ほんちょうし さんさが

二上り、本調子、三下りのスタンダードな三味線の調弦を用意しました。調弦を変えると、鍵盤上では音程はクロマチックに並んだままですが、開放弦の音程が変わり、同時にさわりと共鳴音も追従し、その調弦独特の響きが再現されます。

楽器の状態を緻密にコントロールできるInstrument Editor

弦ごとに調整可能なストリングボリュームとファインチューニング、さわりの音量、共鳴音の音量、ミュートノイズの音量を調整できるノイズミキサーを用意。楽器全体の響きを緻密に調整できます。

二つのプレイモードとピッチベンドモード

リアリティを追求するSingle、コード楽器として演奏可能なPoly。目的に応じて二つのプレイモードを用意しました。またピッチベンドについても、演奏中の弦だけにかかるSolo、全体にかかるAllという二つのピッチベンドモードを用意しました。

製品をお使いいただくにあたって

インストール

ご購入時のメールやご案内に従ってダウンロードとインストールを行ってください。

製品仕様

フォーマット：Native Instruments KONTAKT 5.4 Full 以上(KONTAKT PLAYER非対応)

動作環境

Mac OS X 10.10以降推奨 Intel Core 2 Duo以上

Windows 7、Windows 8 またはWindows 10 Intel Core 2 DuoまたはAMD Athlon 64 X2

Mac、Windowsともに4GB RAM(6GB推奨)

- ・このライブラリーをお使いになるためには、Native Instruments KONTAKT 5.4以上(Full版)が必要になります。(KONTAKT PLAYER非対応)
- ・製品のインストールには7GB以上のディスク空き容量が必要です。
- ・PC環境、動作環境はNative Instruments KONTAKTの推奨動作環境に準じます。
- ・ライブラリーを快適に動作させるためには、より高速なCPUと、余裕のあるRAMメモリーを搭載したコンピュータに製品をインストールすることをお奨めします。

※ご使用時にインターネットを経由したユーザー登録が必要になります。

本製品データにはWatermark(電子透かし)が組み込まれており、違法コピーや違法アップロードを防止できるようになっています。別紙のLicense Agreementに同意の上、お使いください。

必要なMIDIコントローラー

いくつかのコントローラーを用意することで、より TSUGARU SHAMISEN の機能を最大限に生かし、リアルな演奏を再現出来ます(CC:コントロールチェンジ)。

Sustain Pedal CC#64 鍵盤から指が離れた時に、撥で弦を上弾く奏法が表現されます。

これにより、キーオンで打ちおろし(ダウンストローク)、キーオフでスクイ(アップストローク)を交互に発音可能なオルタネートピッキングが可能になります。この機能はサスティンペダルを踏んでいる間だけアクティブになり、どのアーティキュレーションで演奏していても、瞬時にこの奏法を差し込むことができます。サスティンペダルを踏んでいる間、連続で打鍵すれば簡単にトレモロ奏法が実現できます。

Modulation Wheel CC#1 Plucking Control：弦が撥で弾かれる時のアタック音のニュアンスをコントロールします。

Key Switch F1とControl Change CC#11 一部のアーティキュレーションにおいて、バリエーションをコントロールします(固定)。

<ご注意>

TSUGARU SHAMISENでは、MIDI CC#11(Expression)を一部アーティキュレーションのバリエーション・コントロール専用にするため(固定)、Learn MIDI CC#機能を使って各ノブにMIDI CC#を割りあてる際は、CC#11を避けてください。

Quick Reference to TSUGARU SHAMISEN (PDF) を利用すると便利です。

津軽三味線には特有の演奏方法、スケール奏法、用語があるため、それらを和名とともに簡単にまとめた同PDFを見ながら作業することをお勧めします。

MIDI キーボードのレイアウト

C0~D1 : アーティキュレーション Key Switch Zone

D#1 : タッチノイズ Switch

E1 : ミュート

F1 : バリエーションコントロール Switch

F#1~G#1 : スライドノイズ zone

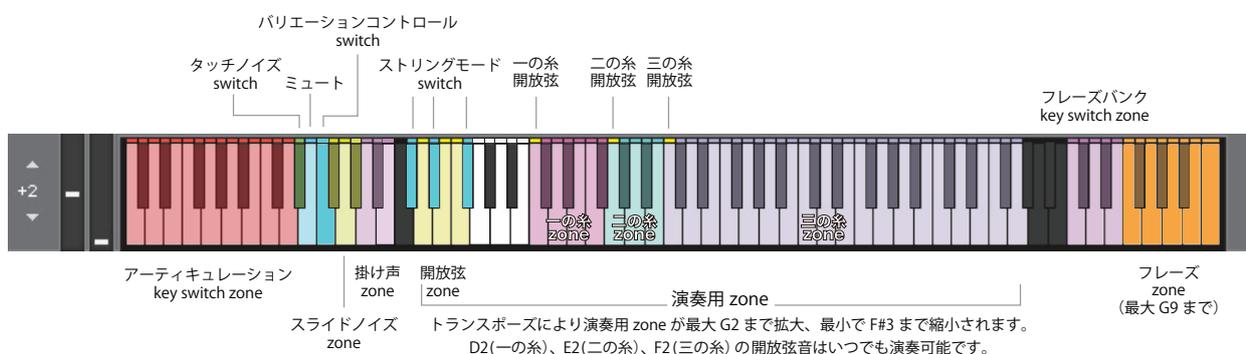
A1~B1 : 掛け声 zone

C#2~F#2 : スtringモード key switch (水色) & 開放弦 (黄色) zone

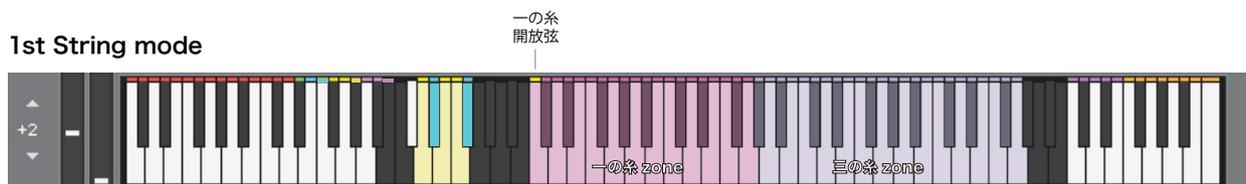
G2~G6 : 演奏用 zone (黄色は開放弦、ピンクは一の糸、緑は二の糸、青は三の糸)

C7~E7 : フレーズバンク key switch zone

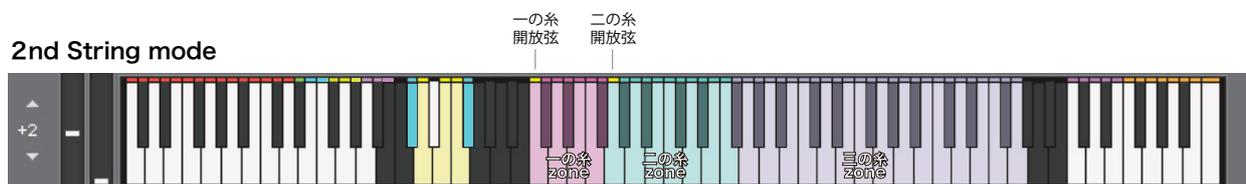
F7~G9 : フレーズ zone



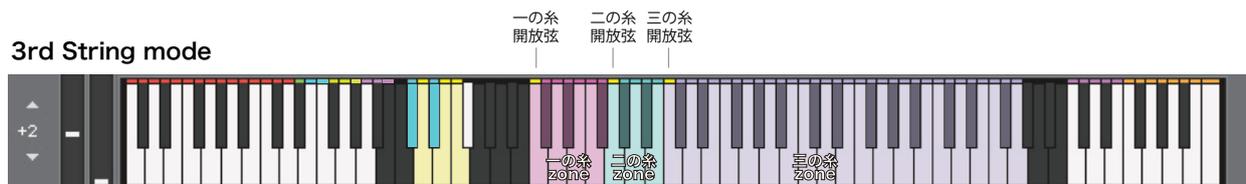
1st String mode



2nd String mode

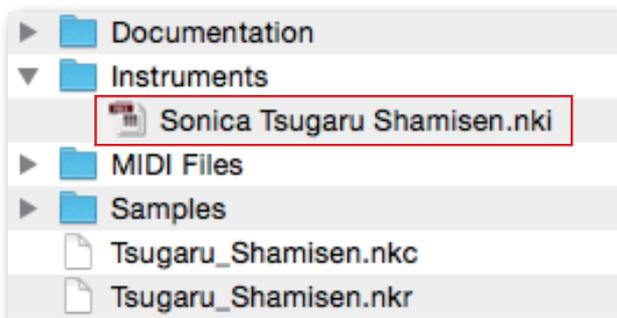


3rd String mode



TSUGARU SHAMISENの読み込み

Instrumentsフォルダの中にある Sonica Tsugaru Shamisen.nkiをKONTAKTのメインウィンドウにドラッグして開いてください。

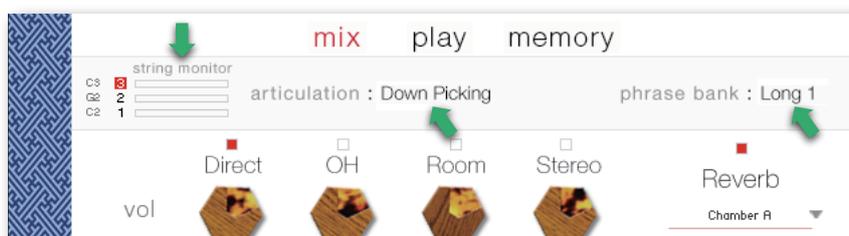


3つのモニター表示

string monitor

articulation

phrase bank



ウィンドウ上部にあるこの3つの表示は mixページ・playページ・memoryページ全てで常に表示され、key switchで選択されている内容が常にモニターできるようになっています。

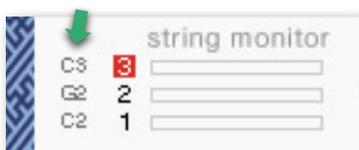
string monitor

津軽三味線には3本の弦がありますが、基本的にギターのような和音演奏はあまりせず、一の糸(一番太い弦)をメインにした単音フレーズや三の糸(一番細い弦)をメインにした単音フレーズを駆使して演奏します。

この演奏方法を再現するために、TSUGARU SHAMISENでは3本の弦を独立した楽器として挙動させ、弦を選択して発音させるストリングモード・メカニズムを開発し、搭載しました。

演奏時は、キースイッチでストリングモードを瞬時に選択可能です。これによって、本物と同じように3本の弦を縦横無尽に行き来する演奏表現が可能となりました。

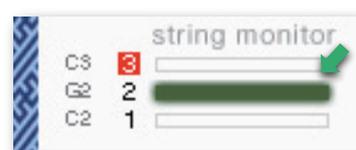
下図はstring monitorの様子です。今どの弦が選択され演奏しているのかをリアルタイムに表示されます。



開放弦の音程を表示。キートランスポーズに追従して変化します。



選択された弦の番号が赤く囲まれます。



発音している弦が点灯します。開放弦は赤、ネック部分の押弦は緑で点灯します。

articulation

key switchで選択されたアーティキュレーション(奏法)名が表示されます。key switchはKONTAKTのキーボードで確認できます。

いくつかのアーティキュレーションにはバリエーションがあり、クリックして選ぶことができる他、キースイッチF1およびCC#11で切り替えることができます。

G#0 : Slide Up バリエーション …… 一の糸のみWhole Tone(全音) / minor3 (短3度)

A0 : Slide Up 2x times バリエーション …… 一の糸のみWhole Tone(全音) / minor3 (短3度)

A#0 : Slide Down バリエーション …… 一の糸のみWhole Tone(全音) / minor3 (短3度)

B0 : Slide Up&Down バリエーション …… Harf Tone(半音) / Major3 (長3度)

F1 : Variation Switch バリエーションスイッチ (MIDI CC#11でも可能)

phrase bank

key switchで選択されたフレーズバンク名が表示されます。

string selector 収録内容とKey Switch

Key Switch	String Mode
C#2	1st string mode
D#2	2nd string mode
F#2	3rd string mode

open string 収録内容とKey

Key	Open String Sound
D2	1st open string sound
E2	2nd open string sound
F2	3rd open string sound

articulation 収録内容とKey Switch

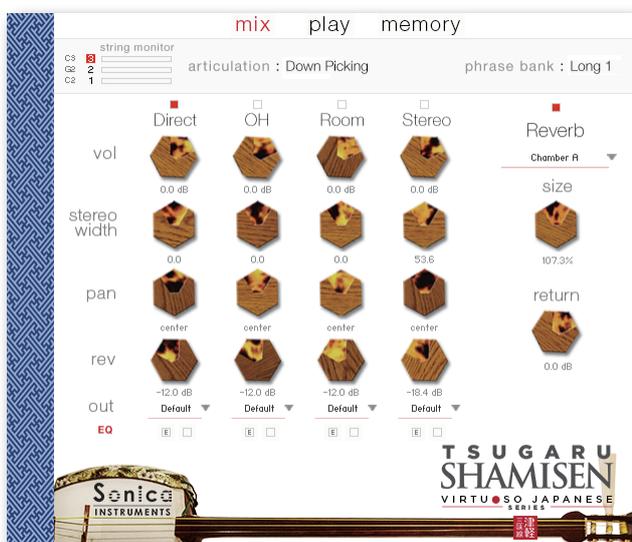
Key Switch	Articulation Name	奏法名	Control 1	Control 2
C0	Mute(front)3rd string only	前バチ 親指ミュート	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
C#0	Up(front)3rd string only	前バチ スクイ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
D0	Mute 3rd string only	前バチ トメ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
D#0	Up Picking	スクイ(アップストローク)	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
E0	Down Picking	打ちおろし(ダウンストローク)	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
F0	Staccato	トメ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
F#0	Hajiki (Pulling off / Hammering on)	ハジキ&打ち指		
G0	Vibrato 1st String Only	ユスリ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
G#0	Slide Up (1st Only Whole / minor3)	スリ上げ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= W / m3
A0	Slide Up 2x times (1st Only Whole / minor3)	スリ上げx2回	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= W / m3
A#0	Slide Down (1st Only Whole / minor3)	スリ下げ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= W / m3
B0	Slide Up & Down (Half Tone / Major3)	スリ上下	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= H / M3
C1	Slide Up & Down(series)	スリ上下連続		
C#1	Slide Up - Down - Up - Down	スリ上下上下	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
D1	Portament Up	スリ		
D#1	Touch Noise	バチのタッチノイズ	全アーティキュレーションに有効	key onごとにON/OFF可能
E1	Mute	ミュート		
F1	Variation Switch	バリエーションスイッチ	G#0, A0, A#0, B0に有効	F1 or CC#11= W / m3
F#1	Slide Noise 1	スライドノイズ 1		
G1	Slide Noise 2	スライドノイズ 2		
G#1	Slide Noise 3	スライドノイズ 3		
A1	Voice 1	掛け声 1		
A#1	Voice 2	掛け声 2		
B1	Voice 3	掛け声 3		

phrase bank 収録内容とkey switch

key switch	Phrase Bank Name	フレーズバンク名	フレーズ数
C7	Oneshot Phrase	ワンショット・フレーズ集	9
C#7	8bars Phrase	8小節フレーズ	9
D7	Long1 Phrase	即興演奏からのショートピース1	15
D#7	Long2 Phrase	即興演奏からのショートピース2	15
E7	Long3 Phrase	即興演奏からのショートピース3	8

mix

このページでは基本的な音作りを行います。



Audio Mixer

Direct、**OH(OverHead)**、**Room** 3種類のステレオマイクポジションとマルチマイク音源をあらかじめバランスよくミックスされた**Stereo Mix**をミキシングできます。

マルチマイクのチャンネルがONの時は“Stereo”はOffになり、逆に“Stereo”がOnの時はマルチマイク・チャンネルはOffになります。

vol : 各チャンネルの音量をコントロールします。

stereo width : ステレオマイキングの広がり調整します。100%でオリジナルの広がり、0%でモノラルになります。

pan : 各チャンネルのpanpotを調整します。

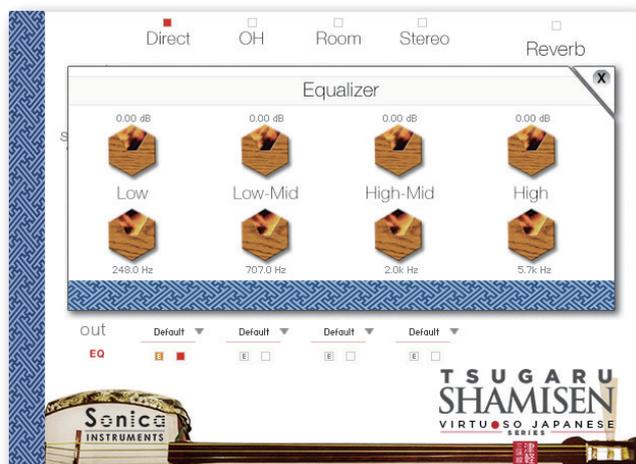
rev : 各チャンネルのコンボリユーション・リヴァーブへのセンド量を調整します。

out : 各チャンネルのオーディオ出力先を選択します。お使いのDAWへマルチ・チャンネルの状態に取り込む時に便利です。

○マルチ・アウトプットの作り方はKONTAKTのマニュアルをご覧ください。

アウトプットを作成した後、KONTAKTのインターフェース右上の「！」ボタンをクリックすると、TSUGARU SHAMISENのoutメニューに作成したアウトプットが反映されます。

EQ : 各チャンネル2搭載された4band Equalizerを調整します。左ボタン [E] をクリックするとEqualizerウィンドウがポップアップされます。右のボタンでEqualizerのON/OFFを行います。



Reverb

28種類のコンボリユーション・リヴァーブを選択できます。

size : Reverb Timeを調整します。

return : Reverb成分の音量調整

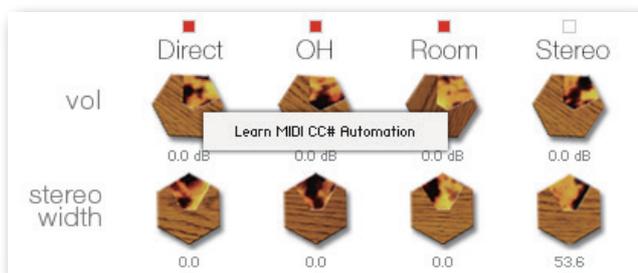


MIDI CC# Learning機能

全てのコントロールノブはMIDI CC(Control Change)で個別にコントロールできます。

Learn MIDI CC#の設定方法

- 1.ノブを右クリックし“Learn MIDI CC# Automation”を表示
- 2.コントロールにしたいMIDIコントローラーの操作子を動かす
- 3.設定完了

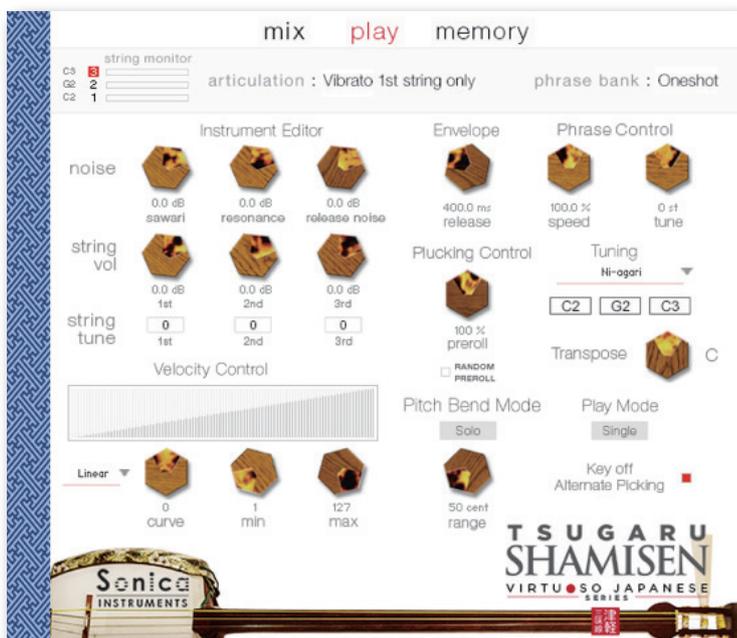


MIDI CC# Automationのリムーブ

設定を削除するには“Remove MIDI Automation CC# nn”を行ってください。

play

このページでは三味線の調弦(チューニング)と音色のニュアンスを設定します。



Instrument Editor

～ sawari (さわり) について ～

三味線の特徴的な響きは“さわり”にあります。津軽三味線の場合、一の糸の上駒付近にある「吾妻さわり」がこの響きを作っています。共振により一の糸以外にも“さわり”が付きますが、チューニングの「二上り」が一番“さわり”が付きやすく明るく派手な音色になり、「三下り」が一番“さわり”が付きににくく暗めの音色、「本調子」がその中間となります。

noise



sawari : さわりの音量を調整します。

resonance : 共鳴音の音量を調整します。

release noise : 弦から指が離れる際のノイズ音量を調整します。

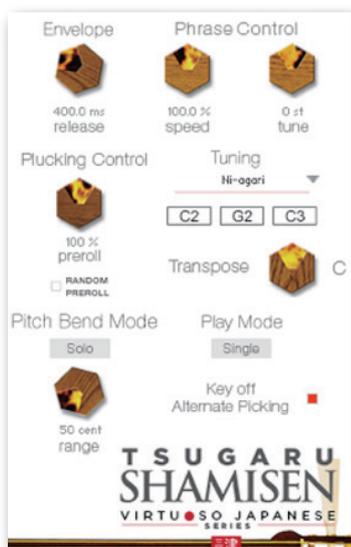
※さわりをわかりやすく確認するには、ストリングモードを三の糸に設定し、MIDI鍵盤のF4を押しながら上記のパラメータを調整してみてください。

string vol と string tune



string vol : 各弦の音量を個別に調整できます。

string tune : 各弦のファインチューンを1セント単位で+100～-100の間で調整できます。



Envelope 演奏中の弦に対してのリリースタイムを調整します。

Plucking Control 弦が撥で弾かれて音を出すまでの挙動をコントロールします。
 preroll : 撥が弦に触れた瞬間から、弦が撥に弾かれるまでの最大時間を調整します。
 RANDOM PREROLL : ONの時、上記prerollをKey Onごとにランダム化させます。

Pitch Bend 演奏中の弦だけにピッチベンドがかかる「Solo」と、全体にかかる「All」の切り替えをします。

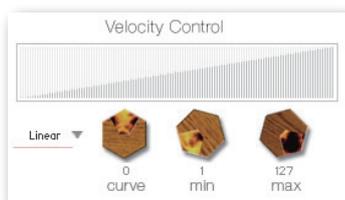
Phrase Control 5つのフレーズバンクから選択されたフレーズのスピードとファインチューンを調整します。
 また、キースイッチG#0~D1のアーティキュレーションも連動しており、スピードを調整できます。

Tuning 「二上り」「本調子」「三下り」の調弦を選択でき、下に開放弦が表示されます。
 それに伴い、さわりと共鳴音も追従します。

Transpose キーを変更することができ、追従した開放弦が上に表示されます。
 それに伴い、さわりと共鳴音も追従します。

Play Mode リアリティを追求する「Single」と、コード楽器として演奏可能な「Poly」の切り替えをします。

Key off Alternate Picking サスティンペダルを踏んでいる間のオルタネイトピッキングのON/OFFを選択します。



Velocity Control

Curve Type : Linear, S-Curve, Compound, Fixed, User

curve : 選択したカーブに変化をつけます。

min : 発音するvelocityの最小値

max : 発音するVelocityの最大値

Curve TypeのUser選択時、「RESET CURVE」ボタンでカーブをリセットできます。

memory

このページでは全アーティキュレーションと全フレーズバンクについて、サンプルの読み込みを設定、KONTAKTでの使用メモリーサイズを調整します。リストのLoadボタンをOFF(消灯)させると、そのアーティキュレーションは無効になり、メモリーサイズが軽減されます。

下段には使用頻度の高いMIDIコントロールチェンジナンバー、ストリングモードセクターのキーナンバー、開放弦のキーナンバーを表示してあります。

mix play **memory**

string monitor
C3 3
C2 2
C2 1

articulation : Down Picking phrase bank : Oneshot

Load	ARTICULATION	Load	ARTICULATION	Load	PHRASE BANK
■	C0 Mute (front) 3rd string only	■	A0 Slide Up x 2 times	■	C7 Oneshot Phrase
■	C#0 Up (front) 3rd string only	■	A#0 Slide Down (Whole)	■	C#7 8 bars Phrase
■	D0 Mute 3rd string only	■	B0 Slide Up & Down (Half / Maj 3rd)	■	D7 Long Phrase 1
■	D#0 Up Picking	■	C1 Slide Up & Down (Series)	■	D#7 Long Phrase 2
■	E0 Down Picking	■	C#1 Slide Up-down-up-down (Whole)	■	E7 Long Phrase 3
■	F0 Staccato open string only	■	D1 Portamento Up		VOICE & NOISE FX
■	F#0 Hajiki (hammering/Tapping)		SPECIAL KEY	■	E1 Release Noise
■	G0 Vibrato 1st string only	■	D#1 Add Touch Noise	■	F#1/G1/G#1 Slide Noise
■	G#0 Slide Up			■	A1/A#1/B1 Voice

Plucking Control	—	Mod Wheel (CC#1)	String Mode Selector	Open String Sound
Key off Up Picking	—	Sus Pedal (CC#64)	1st string - C#2	1st string - D2
Hajiki (tapping)	—	Legato	2nd string - D#2	2nd string - E2
			3rd string - F#2	3rd string - F2

TSUGARU SHAMISEN
VIRTUOSO JAPANESE SERIES

Sonica INSTRUMENTS
Copyright © 2017 Sonica Inc. All Rights Reserved.

TSUGARU
SHAMISEN
VIRTUOSO JAPANESE
SERIES



Credits

Production, Recording, Editing and Kontakt Development: Sonica Instruments

Tsugaru Shamisen Played by Nobuto Yamanaka

GUI Designer: Yujin Ono

Executive Producer: Tomohiro Harada

Kontakt Programming: Rataro. M (Think Master Inc.)

Marketing, Translation & Production Consulting: Craig Leonard

Audio Editing: Yoshitaka Koyama

Sample Mapping: Rataro.M (Think Master Inc.) , Yuki Kuromitsu

Recording Engineer: Keigo Sonoda (Pastoral Sound)

Photography: Takashi Matsuda, Keita Ikeda

Music Video: Yasuhiro Nakashima

Web Design: Masayo Sasaki

User's Manual: Yoshifumi Yamaguchi (LRCOT)

Project Cordination: Daichi Yoshida Production

Copyright 2017 © Sonica Inc. All rights reserved.

Sonica Instruments

www.sonica.jp/instruments/

Sonica
INSTRUMENTS

この書類に記載の情報の著作権は株式会社ソニカ（Sonica Inc.）に帰属します。

複製、公衆送信、改変、切除、ウェブサイトへの転載等の行為は著作権法により禁止されています。

また、この書類の情報は、予告なく変更または削除する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

All copyrights and various intellectual property rights associated with the information contained in this document are owned and controlled by Sonica Inc. Copyrights and various intellectual property rights laws expressly prohibit the reproduction, public distribution, alteration, revision, or publication of this document on any other Web site or in other medium.

The information contained in this document is subject to change or deletion without prior notice.

TSUGARU
SHAMISEN
VIRTUOSO JAPANESE
SERIES